



安全で効きめのある薬をつくり 皆さんの健康をサポートします。



全薬グループ / 全薬工業株式会社 研究開発センター

所在地 / 八王子市南大沢4-7-1 TEL.042-670-3901 <https://www.zenyaku.co.jp>
創業 / 1950年(昭和25年)7月 従業員数 / 600名(連結) (2024年4月1日現在)

私たちの仕事

私たちは、安全で安心して使える「薬」や「化粧品」などをつくっています。たとえば、かぜをひいたときに飲む薬や、健康を維持するための薬、また肌のうるおいを保つ化粧品などです。これらの製品は、主にドラッグストアや薬局などで販売しています。1950年の創業時から積み重ねてきた技術をいかし、皆さんに健康と美を提案し、笑顔になっていただくことを目指しています。



研究開発センター

? 製薬ってなに?

「製薬」とは、病気を治したり体の不調を整えたりする「薬をつくること」です。体のしくみを研究し、病気の原因を探し、その病気に効きそうな成分(物質)を見つけます。そして飲んだり、ぬったりできるように、粒・粉・液体などの形にします。薬は私たちの生活に欠かせませんが、間違った使い方をすると体に悪い影響が出て危険です。そのため私たちは薬をつくりながら、安全に使ってもらうための「正しい使い方」や「健康情報」も提供しています。

? どんな薬をつくっているの?

私たちはOTC医薬品をつくっています

OTCとは、英語の「Over The Counter(オーバー・ザ・カウンター)」を略した言葉。「カウンター越しにお薬を販売する」という意味で、ドラッグストアや薬局などで買える薬のことを言います。OTC医薬品のうち、かぜ薬や痛み止めなどの薬や、ビタミン剤やカルシウム剤などの健康を維持する薬をつくっています。

「ジキニン」シリーズは発売開始から66年

私たちの会社は1958年から「ジキニン」シリーズという、かぜ薬をつくり続けています。かぜをひいたときに出る熱やのどの痛みなど、さまざまな症状に効く薬です。ドラッグストアや薬局などで買うことができます。



▲ジキニンイメージキャラクター:ジキ忍

OTC医薬品がつくられるまでを見てみよう!

安全で効きめのある薬を皆さんにお届けするため、全社員で協力してつくっています。

① 調査・研究

最新情報を集め、どんな薬をつくるか決める。製品を形にするための研究をする。



② 開発・製品化

たくさんつくったときでも効果に差がうまれないように、何度も試み、薬を完成させる。容器・パッケージを決める。



③ 製造・販売許可を取る

薬を製造し販売するため、効果や安全などを証明する情報を集める。国や都道府県に書類を出して許可を取る。



④ 工場生産

お客さまに安心して使ってもらえるよう、安全と品質を一番に考えて工場薬をつくる。



⑤ 発売

ドラッグストアや薬局のスタッフの方に、正しい使い方を学んでもらう勉強会を開く。製品の特長をCMなどで伝える。




⑥ 販売後の情報収集

お客さまや販売スタッフからの情報を集め、製品に問題が起きていないか調べる。




ここに注目!! ESGなど、どんな取り組みをしているの?

皆さんの健康と笑顔につながる製品づくりをするために、新しい知識や技術を集め、研究開発を行っています。



パッケージや容器は、誰もが使いやすいよう、持ちやすさや文字の読みやすさにこだわってつくっています。



使用期限(有効 製造番号)
2024.02 CCN01

▲使用期限の文字がはつきり読めるようレーザー印字を使用しています。

働く人の声

成分などの効きめの研究担当



化粧品の研究担当



薬や化粧品などのもとなる成分が私たちの体でどのような働きをするのかを研究しています。新しい薬や化粧品につながるすごい研究結果を得るためにはとても苦労しますが、皆で力を合わせてつくった製品がお店に並ぶととても嬉しいです。

どんな成分をどのくらい入れるか、どんな順番で入れるかなどを考えて試しながら化粧品をつくる研究をしています。そうして、自分のつくった化粧品がお店で売られているのを見るときはとても嬉しいです。